

Bluetooth モデル
CS7219i-BT
クイックマニュアル Ver1.0



○著作権について

このマニュアルには、著作権で保護されています。

著作権法に基づき、このマニュアルは、全てまたは一部を複写、写真複写、複製、翻訳、事前の書面による承諾なしに利用することは出来ません。

○限定保証

このマニュアルは、製品を使用する前に、確認を行ってください。

いかなる場合においても、

また、そのような損害の可能性について知らされていた場合でも、

このマニュアルまたは製品の使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、特別、結果的または損害について責任を負わないものとします。

○設定について

本体ファームウェア、初期設定等は

内容は予告なく変更する場合があります。

また、本書は詳細マニュアルよりよく使われる設定を抜粋した

○製品保証

ページ最後の製品保証書よりご確認ください。

内容

1.付属品	5
2.製品スペック	6
3.本体説明（バーコードリーダー）	7
4.本体説明（クレードル・表面）	8
5.本体説明（クレードル・裏面）	8
6.設定バーコード利用方法	9
7.充電方法	9
8.LED の動作（スキャナー）	10
9.LED の動作（クレードル）	11
10.ペアリング1（クレードルを使う/PCに使う）※デフォルト	12
11.ペアリング2（スキャナーのみを使う/モバイル端末に使う）	13
12.モード別操作：範囲外蓄積	14
13-1.設定用コード（初期化・電源強制OFF）	15
13-2.設定用コード（FW情報など）	16
13-3.スキャナーのBluetoothデバイス名をカスタマイズ	18
13-4.設定用コード（Bluetooth通信モード）	19
14-1.設定用コード（Batchモード）	20
○範囲外蓄積（範囲外Batchモード）	20
○バッチモード/蓄積送信	20
14-2.設定用コード（文字間遅延）	21
○文字間遅延の設定	21
14-3.設定用コード（音・振動・スキャンモード・照明LED）	22
○電源音の有効・無効	22
○読み取り時ビープの有効・無効	22
○読み取り時ビープの音量	22
○完全無音モードの有効・無効	23
○読み取り時振動の有効・無効	23
○スキャンモード（照射の方法）	23
○照明LED（光源の色）	24
○照明LEDの明るさ	24

14-4.設定用コード（キーボード・改行コード）	25
○キーボードの設定(違う記号になる等の対処)	25
○改行コード(末尾)	25
14-5.QR コード日本語送信設定（Win10 以前のメモ帳・Excel 等※1で出力する）	26
14-6.QR コード日本語送信設定（Win11 以降のメモ帳・Word・Outlook 等※1で出力する）	27
15.トラブルシューティング	28
16.製品保証	29
17.製品保証書	30

1.付属品

番号	名称
1	バーコードリーダー本体
2	クレードル（充電・通信スタンド）
3	USB 通信ケーブル（USB モデルのみ）
4	バッテリー（本体内蔵済）
5	製品箱
6	クイックマニュアル（本書）

※万一、欠品や不良があった場合は、直ちに販売店にお問い合わせください。

2. 製品スペック

○スキャナー		○Bluetooth仕様	
寸法	87x 64.5 x 167 mm (L*W*D)	Bluetooth	Bluetooth V4.2
重さ	200g (バッテリ含む)	周波数帯域	2.4~2.5GHz
○クレードル		伝送距離	
寸法	118 x 89.5 x 74 mm (L*W*D)	電力消費	150mA (スタンバイ) 400mA(動作時)
重さ	141.5g (ケーブル含まない)	○バッテリー	
○利用環境・保護耐性		電圧バッテリ ー	リチウム電池 3.7V/2,600 mAh
動作温度	-20° C ~50° C	充電時間	約 5.5 時間程度
保管温度	-40° C to 60° C	フル充電から 動作時間	約 20 時間 (1 スキャン/5 秒毎)
湿度	5% to 95% ※結露なきこと	○クレードル	
保護	IP52	電圧	5±0.25VDC
○読み取り仕様		動作消費	60mA (スタンバイ) 500mA(充電)
光源	白 LED 625 ± 5nm	○耐久・安全証明	
コントラスト比	80%以上	EMC	EN55032, EN55035
分解能	1 次元コード: 3mil/0.076mm 2 次元コード: 5mil/0.127mm	電気安全 光安全	EN62368-1 EN62471:2008
読み取り深度	3milCode39 (3chars) 20~80mm 5milQR(40chars)10~130mm	落下テスト	1.5m の高さからの 落下テストクリア
視野	±40° 水平、±34° 垂直	○対応コード	
インジケータ	ビープと LED とバイブレーション	1 次元	JAN, EAN, UPC, UCC/EAN128, ISBN, ISBT, Code 11, Code 39, Code 93/93i, Code 128, Interleaved, Matrix, Industrial Standard 2 of 5, Codabar (NW-7) MSI, Plessey, Telepen, Postal codes, GS1 DataBar
スキャン角度	Pitch : ±70° (前後) Skew: ±75° Roll : 360°		
周囲光	100,000 Lux Max.	2 次元	QR code : 訂正レベル L/M/Q/H バージョン 1~40 まで対応 Data Matrix, PDF 417, Micro PDF417, Aztec,
インターフェイス	• USB (HID、Virtual COM) ※クレードル利用時 • Bluetooth (HID SPP) • RS-232C (別売。お問い合わせください。) ※クレードル利用時		

3.本体説明（バーコードリーダー）

- ① スキャンウインドウ
- ② 電源/スキャンボタン

※長押し 3 秒で電源 ON

※長押し 10 秒で電源 OFF



③ブザー：
読み取り音や状態を確認で
きます。
P10 を参照してください。

④電源 LED (青) :
バーコードリーダーの状態
を確認できます。
P10 を参照してください。



⑤通信 LED (緑/赤) :
バーコードリーダーの状態
を確認できます。
P10 を参照してください。

4.本体説明（クレードル・表面）

⑥電源 LED（青）：

通電の状態を確認できます。

P11 を参照してください。

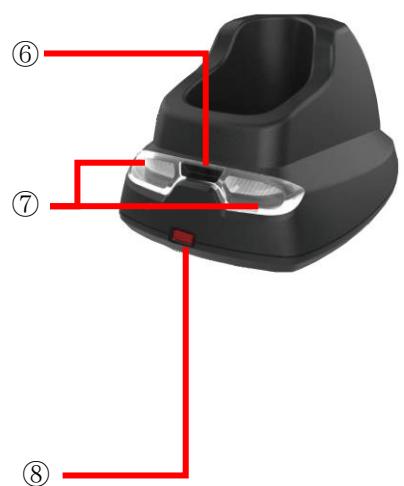
⑦通信 LED（緑）：

通信の状態を確認できます。

P11 を参照してください。

⑧クレードルリセットボタン：

長押し10秒で、クレードルを初期状態に戻ります。



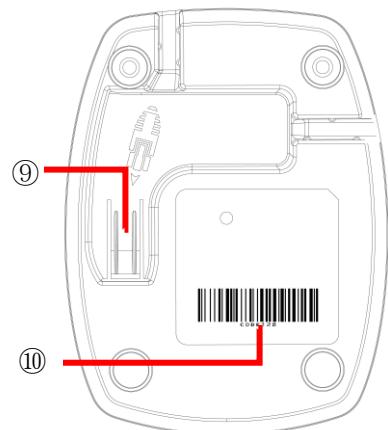
5.本体説明（クレードル・裏面）

⑨ケーブル差し口：

USB ケーブルを取り外す際、ここを押して外します。

⑩ペアリングコード：

スキャナーをペアリングするためのバーコードです。



6. 設定バーコード利用方法

○設定を行うには直接設定コードを読み取ります。

設定例: 読み取り音量を「小」にする。

例 1. 該当する設定コードを読み取ります。

 %0505D00%	読み取り音を小にする
--	------------

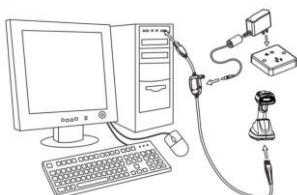
※この項目は例です。

例 2. 以上で設定完了です。

7. 充電方法

1. USB ケーブルとクレードル（底面）を接続します。

※快速充電の場合は別途 USB 専用の AC アダプター(5V)をご購入下さい。



2. スキャナーをクレードルにセットします。

LED は図を例にすると後ろになります。

LED はクレードルとスキャナ
ーの
裏側になります。



※バッテリー残量が 0 (トリガーを引いても照射しない) 場合、
充電開始から照射が出来るまでに 5~10 分程度時間がかかります。
満充電までは約 5.5 時間程度です。

8.LED の動作 (スキャナー)

ステータス	スキャナー	
	LED	ピープ音
電源オン (トリガーボタン長押し 3秒)	④の電源 LED 青点滅 1回	アップトーン (短-短-長) -----ピッピッ 2回
電源 OFF (トリガーボタン長押し 10秒)	LED 消灯※5秒後、白いエリ アー照射が消える	ピッ 1回
バッテリー少ない：スタンバイ中	④の電源 LED 青点滅 1回/秒	
バッテリー少ない：動作中	④の電源 LED 青点滅、10秒ごとに	10秒ごとに比ピッピッ--ピッピッ 4回
メモリが MAX	⑤の通信 LED 緑点滅	ピッピッ--ピッピッ 4回
送信成功	⑤の通信 LED 緑点滅 1回	ピッ 1回
送信失敗	⑤の通信 LED 緑点滅 1回 赤点滅 2回	ピッ--ピッピッ
セットアップ	④の電源 LED 青点灯 ⑤の通信 LED 緑点灯	ピッ 1回
BT 接続待機(未ペアリング)	LED 消灯	無
BT 接続成功直後	LED 消灯	ピッピッ 2回
BT 接続時 (ペアリング時)	LED 消灯	無
BT 切断	LED 消灯	長---短
充電中	④の電源 LED 青点灯 ⑤の通信 LED 赤色点灯	ピッ 1回
フル充電	④の電源 LED 青点灯 ⑤の通信 LED 緑点灯	
省電力モード (30分経過)		長---短 1回

9.LED の動作 (クレードル)

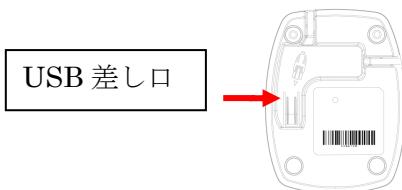
ステータス	クレードル	
	LED	ビープ音
電源 ON	⑥の電源 LED 青点灯	
送信成功	⑦の通信 LED 緑点滅	
BT 接続待機(未ペアリング)	⑦の通信 LED 緑点滅	
BT 接続成功直後	⑦の通信 LED 緑消灯 ⑥の電源 LED 青点灯	
BT 接続時 (ペアリング時)	⑥の電源 LED 青点灯	
BT 切断	LED 消灯	

10.ペアリング1（クレードルを使う/PCに使う）※デフォルト

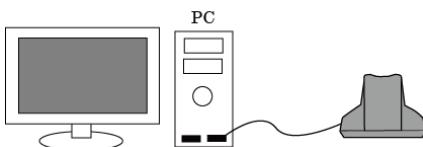
1. スキャナーのトリガーボタンを3秒長押し、電源入れます。



2. クレードルにUSBケーブルを接続します。



3. PCと接続します。



4. バーコードリーダーから「ピッピッ」2回音が鳴ると設定完了です。



5. メモ帳・Excel・在庫管理ソフトなどを起動しバーコードを読み取らせます。

以上で設定は完了です。

	A	B	C
1	12345		
2	12345		
3			

例：「12345」のバーコードを2回読み取った場合

11.ペアリング2（スキャナーのみを使う/モバイル端末に使う）

- 下記のバーコードを読み取ります。



%0740D00%

BT-HID モード
読み取り直後ビープ 3回

- 受信機側のBluetoothの画面を開きます。

「barcode」や「scanner」と書かれたものを選択します。



・例：ios の場合
名前は省略されることもあります。

・例：Android の場合
名前は省略されることもあります。

- コードの入力を要求が出てきた場合は「キャンセル」か「無視」を選択します。



例：ペア設定要求画面
代表例です。OS や
受け側の機種により異なります。

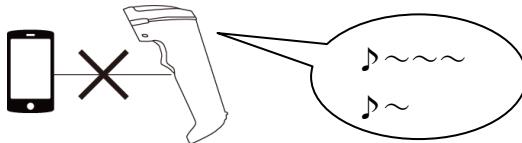
- バーコードリーダーから「ピッピッ」2回音が鳴ると設定完了です。
メモ帳や在庫管理のアプリ等にてバーコードを読み取ると送信されます。

12. モード別操作：範囲外蓄積

・範囲外蓄積機能（デフォルト OFF）

範囲外や通信不良時にデータの送信ができない場合、
スキャナー本体にデータを蓄積し、再度通信が復帰した時にデータを自動送信できます。

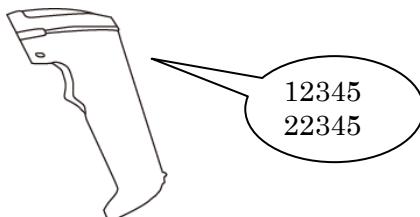
- 範囲外に出るとスキャナーから「長----短--」2回 beep 音が出ます。



- この状態でバーコードを読み取ると MD520BT にバーコードデータを保存します。

※蓄積メモリ容量：512KB 例：13 桁のコードを 5000 件程度保存可能です。

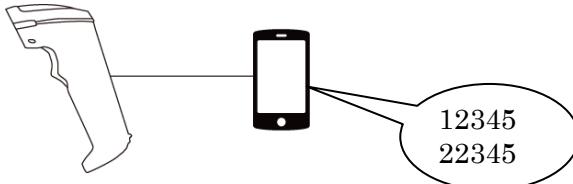
メモリが MAX になると、LED は赤色点滅 2 回、ピープ音が「長い----」音が出ます。



- 範囲内に戻ると「短--短--」2回 beep 音が出ます、自動再ペアリングになります。



- この状態で蓄積したデータが自動的に送信されます。



※クレードルと繋いでいる場合、PC とクレードルが USB ケーブルで
繋がっていない等の理由でデータが正しく送信されなかつた場合は
「ピピッ」とエラー音がします。

13-1. 設定用コード（初期化・電源強制 OFF）

◆すべて初期化する



本体の基本設定と Bluetooth 設定内容
(ビープ音 2 回)

%%ADEF

◆クレードル設定を初期化する



%%BDEF

※Bluetooth 通信を切断し
クレードルモードへ変更します。

◆本体の基本設定を初期化する



%%%DEF

(本体の基本設定パラメータ)
(ビープ音 2 回)

◆電源強制 OFF



%PWOFF

13-2. 設定用コード（FW 情報など）

◆クレードルの FW 情報



%%BVER

◆スキャナーの FW 情報



%%%VER

◆クレードルの Bluetooth-FW 情報



%BBTVR

◆スキャナーの Bluetooth-FW 情報



%BTVER

◆クレードルの Bluetooth-MAC 情報



%BBMAC

◆スキャナーの Bluetooth-MAC 情報



%%BMAC

◆Bluetooth デバイス名の確認 (HID-BT)



%%%BTN

◆Bluetooth デバイス接続情報 (HID-BT)



13-3.スキャナーのBluetoothデバイス名をカスタマイズ

○スキャナーのBluetoothデバイス名をカスタマイズすることができます。

※デフォルト内容は：Scanner

※スキャナー本体のデバイス名のみ設定可能

【カスタマイズ方法】

以下のルールに沿って、デバイス名バーコードを作つて下さい。

設定バーコード種類：Code128 あるいは QR CODE

デバイス名の長さ：1～30 キャラクターまで

デバイス名に使えるキャラクター：0-9、a/A～z/Zまで

設定バーコード内容：



%BTN%xxxx

「%BTN%」は必ずバーコードの先頭に入れます

「xxxx」はデバイス名の内容

例 1. デバイス名を「1234Md」に設定したい場合。



デバイス名：1234Md

※この項目は例です。

2. 以上のバーコードをスキャンすることで設定完了です。

【デバイス名の確認方法】



上記のバーコードをスキャンすることでデバイス名を確認できます。

13-4. 設定用コード (Bluetooth 通信モード)

◆BT-HID モード



%0740D00%

モバイル端末と Bluetooth 接続際によく使われるモード、スキャナ一本体のみの BT-HID 通信モード
(ビ、ビ、ビ音 3 回)

◆SPP モード



%0740D01%

モバイル端末と Bluetooth 接続際によく使われるモード、スキャナ一本体のみの SPP 通信モード
※端末側に SPP 通信専用ソフトが必須
(ビ、ビ、ビ音 3 回)

◆クレードルモード (デフォルト)



%0740D02% *

PC と Bluetooth 接続際によく使われるモード、クレードルを経由して PC と通信ペアリング
(ビ、ビ、ビ音 3 回)

14-1. 設定用コード (Batch モード)

○範囲外蓄積 (範囲外 Batch モード)

有効にすると通信切断時は蓄積モード、範囲内では通常送信モードになります。
また、通信復帰時に蓄積データが自動的に送信されます。

	範囲外 蓄積有効		通常送信 (デフォルト)
---	-------------	---	-----------------

○バッチモード/蓄積送信

バッチモードを選択するとリアルタイムでデータを送信せず、データを蓄積します。
次ページの「データ送信」を読み取ると蓄積データを送信します。

バッチモード (データ削除あり) : 保存したデータを送信した後に、データが削除されます。

バッチモード (データ削除なし) : 保存したデータを送信した後に、データが削除されません。

	通常送信 (デフォルト)		バッチモード (データ削除あり)
			バッチモード (データ削除なし)

上記にて「バッチモード/蓄積送信」に設定した際に利用可能です。

	保存したデータを送信する (ペアリング中でバッチモード/蓄積送信時のみ)
	保存したデータの数量を確認 (ペアリング中でバッチモード/蓄積送信時のみ)
	保存したデータを削除する (ペアリング中でバッチモード/蓄積送信時のみ)

14-2. 設定用コード（文字間遅延）

○文字間遅延の設定

1 文字ごとに送信遅延を入れます。

受け側の端末で処理が追いつかない場合や桁落ち（全ての桁が送信されない）時にご利用ください。

0ms より 1 段階ずつ値を増やしていき、送信に問題の値でご利用ください。

※文字間の遅延設定は BT-HID モードのみ設定可能です。

 %0742D00% *	0ms ※デフォルト	 %0742B05%	5 ms
 %0742B10%	10ms	 %0742B15%	15ms
 %0742B20%	20ms	 %0742B25%	25ms
 %0742B50%	50ms	 %0742B99%	99ms

14-3. 設定用コード（音・振動・スキャンモード・照明 LED）

○電源音の有効・無効

バーコード読み取り成功時のビープを鳴らすか鳴らさないかの設定が可能です。

 %0501D01% *	有効 (電源入れる 時) ※デフォルト	 %0501D00%	無効 (電源入れる時)
--	------------------------------	--	----------------

○読み取り時ビープの有効・無効

バーコード読み取り成功時のビープを鳴らすか鳴らさないかの設定が可能です。

 %0503D01%	有効 (読み取り時 音をだす) ※デフォルト	 %0503D00%	無効 (読み取り時無音)
--	---------------------------------	--	-----------------

○読み取り時ビープの音量

バーコード読み取り成功時に流れるビープ音の大きさを設定できます。

 %0505D02% *	大 (デフォルト)	 %0505D01%	中
 %0505D00%	小		

○完全無音モードの有効・無効

電源音、Bluetooth 接続音と切断音、読み取り音、設定音、保存したデータの送信音、クレードルの装着音、バッテリー残量少の提示音を一括有効/無効の設定ができます。

 %0509D01%	有効	 %0509D00%	無効 ※デフォルト
--	----	--	--------------

○読み取り時振動の有効・無効

バーコード読み取り成功時に振動するかしないかの設定が可能です。

 %0507D01% *	有効 ※デフォルト	 %0507D00%	無効
--	--------------	--	----

○スキャンモード(照射の方法)

照射の際に照射を出す方法を選択できます。

・トリガーモード

トリガーを押された際に照射をするモードです。

・ハンズフリーモード

バーコードリーダーの光が出る部分にバーコードをかざすことで自動で照射を開始します。

★ハンズフリーモードに設定した後は、必ずクレードルに装着して下さい。
クレードルに装着しないと、ハンズフリーモードに切り替えません。

 %0401D01% *	トリガーモード ※デフォルト	 %0401D06%	ハンズフリーモード ★クレードルに装着
--	-------------------	--	------------------------

○照明 LED (光源の色)

照射の際に光源の色を選択できます。

・赤 LED

・白 LED

背景素材と印字コードが同色系の場合は白 LED に設定することを推奨します

例：白いプラスチックにグレーのコードを印字する場合

 %9005D00%	赤 LED	 %9005D01% *	白 LED (デフォルト)
--	-------	--	------------------

○照明 LED の明るさ

バーコード読み取り時に照明 LED の明るさを設定できます。

 %9003D03% *	高 (デフォルト)	 %9003D02%	中
 %9003D01%	低		

14-4. 設定用コード（キーボード・改行コード）

○キーボードの設定(違う記号になる等の対処)

お使いの端末により、キーボードレイアウトを設定する必要があります。

 %0902D00% *	英語 キーボード ※デフォルト	 %0902D08%	日本語 キーボード
--	-----------------------	--	--------------

○改行コード(末尾)

読み取りの最後に付加コードを設定します



CR (デフォルト)



無し



TAB



Space

14-5.QR コード日本語送信設定 (Win10 以前のメモ帳・Excel 等※1 で出力する)

日本語が含まれる QR コードを読み取る際、下記の設定を行ってください。



日本語入りの QR コード例

1. QR コードの 2 バイト文字※2 (ひらがな,カタカナ,漢字などの日本語文字) を送信する際、ドライバー不要※3 で下記 3 つのコードを読み取ることで設定が可能です。

手順 1(アルファベット順キー)	手順2(日本語キーボード)
 %0904D00% *	 %0902D08%

手順 3(日本語エンコード)
 %0413D07%

2. お使いのソフトにて読み取り送信を行い、正常に出力されるかを確認します。

※1, 出力ソフトの文字コードは Shift-JIS の場合のみ送信できます。

例：メモ帳 (Win10 以前)、excel、google スプレッドシートなど

※2, QR コードの 2 バイト文字とは Shift-JIS 或いは UTF-8 の文字コードで作成した QR コードです、本機は両方送信可能です。

※3, 本機能は Windows OS のみ対応できます。

※4, 本機能はクレードル通信モードのみ利用できます。

※5, 正しく送信できない場合はソフトの常駐が必要になります。

POS ショッピングストアの HP#サポートページ#VCOM より download して下さい

14-6.QR コード日本語送信設定 (Win11 以降のメモ帳・Word・Outlook 等※¹で出力する)

日本語が含まれる QR コードを読み取る際、下記の設定を行ってください。

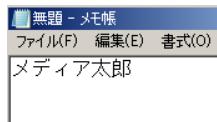


日本語入りの QR コード例

1. QR コードの 2 バイト文字※² (ひらがな,カタカナ,漢字などの日本語文字) を送信する際、ドライバー不要※³ で下記 2 つのコードを読み取ることで設定が可能です。

手順 1(アルファベット順キー)	手順2(日本語エンコード)
 %0904D02%	 %0413D07%

2.お使いのソフトにて読み取り送信を行い、正常に出来出力されるかを確認します。



(正常な例)

※1, 出力ソフトの文字コードは Unicode の場合のみ送信できます。

例：メモ帳（Win11 以降）、Word、Outlook、OneNote など

※2, QR コードの 2 バイト文字とは Shift-JIS 或いは UTF-8 の文字コードで作成した QR コードです、本機は両方送信可能です。

※3, 本機能は Windows OS のみ対応できます。

※4, 本機能はクレードル通信モードのみ利用できます。

※5, 正しく送信できない場合はソフトの常駐が必要になります。

POS ショッピングストアの HP#サポートページ#VCOM より download して下さい

15. トラブルシューティング

Q1. 送信したバーコードの数字がバラバラになる、
おかしな場所で改行が起る、桁落ちが見られる。



正常なデータ「12345」を
送信した時



「12345」を読み取って
正しくないデータが送信される例

A1. バーコードリーダーの入力速度に受信側端末の処理が
追いついていない可能性がございます。
P20 より遅延の設定を行ってください。

Q2. iOS 端末にてキーボード呼び出しを行いたい。
A2. 下記のバーコードをスキャンして下さい。

iOS 端末でペアリングを行っている際に
バーコードをスキャンすることでキーボードを表示させることができます。
再度バーコードをスキャンすることで非表示に出来ます。



ios の画面 (イメージ)

16.製品保証

1. 保証期間中に、正常な状態において本体が故障した場合、無料にて故障箇所の修理を致しますので、保証書をそえて弊社まで送付下さい。
なお、送料はそれぞれ送付元負担とさせて頂きます。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - ①保証書をご提示されないとき。
 - ②誤った使用、改造等による故障及び損傷
 - ③天災、異常電圧等の外部要因に起因する故障及び損傷
 - ④保証書の未記入、記載内容が書き換えられたもの
 - ⑤その他弊社の判断に基づき有償と認められるもの
3. 保証書は再発行しませんので大切に保管して下さい。
保証書は、本書に明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についての詳細は弊社までお問合せ下さい

17. 製品保証書

製品保証書

この製品保証書は、当社が定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

修理をお申込みの際は下記の項目を記載し P4 の付属品がすべて揃っていることを確認して下さい。

紛失している場合、有償保証となる可能性がございます。

保証期間：ご購入日より 1年間

製品名	CS7219i-BT
シリアル番号	
製品保証	<input type="checkbox"/> 期間内 <input type="checkbox"/> 期間外
修理金額が発生する場合	<input type="checkbox"/> 見積もり必要 <input type="checkbox"/> 見積もり不要（商品返却必要） <input type="checkbox"/> 見積もり不要（商品破棄希望）
ご注文番号又は納品番号 メール・又は納品書に記載	
ご注文日 (上記紛失時)	
ご連絡先	TEL : Email :
会社名	
ご担当者名	
症状/症状前の操作等	

◆修理お申し込みフォーム

<https://mindeo-japan.com/firsttime/>

当製品に関するお問合せ先

MINDEO Japan 株式会社

物流テクニカルサポートセンター

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 1661-6

TEL:0942-48-3630 FAX:0942-48-2224

受付時間：平日 10:00～18:00（土日祝除く）